

社会科学習指導案

岸和田市立城東小学校
指導者 石郷岡 宏一郎
日時 令和7年11月6日(木)
第5時限(13:40~14:25)
学年・学級 4年2組(20人)

1. 単元名

『先人のはたらきについて考えよう』～郷土を開く～(わたしたちの郷土:岸和田市副読本)

2. 単元の目標

- ・地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解することができる。【知識・技能】
- ・地図や記録などの資料を調べて、年表などにまとめることができる。【知識・技能】
- ・当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の思いを考え、表現することができる。【思考・判断・表現】
- ・府内の先人の働きについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追及し、解決しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

3. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により、当時の生活の向上に貢献したことを理解している。 ②地図や記録などの資料で調べて、年表などにまとめることができる。	①当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現することができる。	①府内の先人の働きについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追及し、解決しようとしている。

4. 教材の取り扱い

教材観

本教材では、小学校学習指導要領・社会の第3学年及び第4学年【思考力、判断力、表現力等】の内容(4)イ「当時の世の中の課題や、人々の願いなどに注目して、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現すること」を重点事項として取り上げる。

大和川は、奈良県から大阪府にかけて流れる一級河川である。大阪府内の37におよぶ市町村が大和川流域であり、人々の生活を支える重要な川として活用されている。この大和川には、約300年前に大規模なつけかえ工事が行われた歴史がある。この工事の特徴は、工事決定までが長く、工事期間が短かったことである。旧大和川は、大阪府の特徴的な地形からたびたび洪水を起こしていた。そこで、中甚兵衛などによるつけかえを求める運動が起こった。しかし、さまざまな意見の対立があったため、工事の決行までには50年の時間がかかった。

本単元では、このような大和川のつけかえ工事の流れを学習する。工事に至るまでの人々の動き、実際のつけかえ工事の様子、その後の人々の生活や河川の様子などを知ることで、大阪府の先人たちがどのようにして自分たちの土地を守ってきたのかを考えさせたい。また、地域の発展に尽くしてきた人々に関心をもつことができるようにしたい。

児童観

本学級の児童は、社会の学習に対して、クラスの半数以上が「苦手」だと感じている。一方で、児童自ら調べ、課題解決した学習については、半数以上が一斉授業よりも「理解しやすい」と感じている。このことから、社会の学習は苦手ながらも、各自が課題を解決していく学習については意欲的に取り組みやすいと考える。

また、Googleスライドなどを用いて、他者の考えと比べながら考えることで、苦手と感じている児童も取り組みやすいようにしていく。

指導観

本単元は、約300年前の出来事についての学習が中心である。機械がなくてすべて人力であったことや、身分制がはっきりしていたことなどを押さえ、日頃の生活とは異なる点が多いことを理解させたい。その際、地図やイラストなどの視覚資料などを用いて、当時の様子を具体的に捉えさせたい。

本時では、教科書や資料から、つけかえ工事に賛成・反対している人の訴えを読み取り、思考ツールなどを用いて整理していく活動を行う。どのような思考ツールを使えばわかりやすくまとめられるのかを考えさせたい。

5. 指導計画(全12時間)

第1時	大和川がどのような川なのかを調べ、学習の見通しをもつ。
第2時	今の大和川の様子について調べる。
第3時	昔の人々の暮らしについて調べる。
第4時	つけかえ前の大和川の様子について調べる。
第5時(本時)	つけかえ工事が決まるまでの人々の動きを調べる。
第6時	つけかえ工事を決めるまでの幕府の動きを調べる。
第7時	つけかえ工事の様子について調べる。
第8時	つけかえ工事の工夫について調べる。
第9・10時	つけかえ後の様子与人々の暮らしについて調べる。
第11時	現在の大和川を守るための取り組みについて調べる。
第12時	まとめ

6. 本時の展開

(1) 本時の目標

つけかえ工事がはじまるまでの人々の動きを調べ、様々な苦心や努力によって、当時の生活の向上に貢献したことを理解する。

(2) 本時の評価規準

つけかえ工事に賛成派・反対派の意見をわたしたちの郷土などから読み取り、思考ツールなどを使ってまとめることができている。

(3) 本時の判断基準

十分満足できる状況(S)	おおむね満足できる状況(A)	努力を要する児童への支援
つけかえ工事に賛成派・反対派の意見をわたしたちの郷土などから読み取り、思考ツールなどを使ってまとめることができ、自分の意見をもつことができている。	つけかえ工事に賛成派・反対派の意見をわたしたちの郷土などから読み取り、思考ツールなどを使ってまとめることができている。	つけかえ工事に賛成派・反対派の意見をわたしたちの郷土などから読み取り、思考ツールなどを使ってまとめることができている。 →観点を示したり、他者参照を行わせたりする。

(4) 本時の学習の手引き

めあて： つけかえ工事がはじまるまでの人々の動きについてまとめよう

S： つけかえ工事に賛成派・反対派の意見をわたしたちの郷土から読み取り、思考ツールなどを使ってまとめ、自分の意見をもつ。

A： つけかえ工事に賛成派・反対派の意見をわたしたちの郷土から読み取り、思考ツールなどを使ってまとめる。

問題発見： つけかえ工事がはじまるまでの人々の動きについてまとめよう

情報収集： わたしたちの郷土P126・127

- ①つけかえ工事に賛成している人の意見、反対している人の意見
- ②つけかえ工事までに起こった出来事
- ③自分だったら賛成派？反対派？

整理分析： 思考ツール

賛成派・反対派の意見を整理する

表現発信： 今日学んだことは？ →自分だったら賛成派？反対派？

(5) 本時の学習過程

	S	A	B
導入 (全体) 5分	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題を確認する。 ○学習の手引きを確認する。 		
展開 (フリー) 32分	<p>○わたしたちの郷土 P126.127 を読んで、つけかえ工事にかかわった人の訴えを読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●賛成派 <ul style="list-style-type: none"> ・こう水がおこり、作物がとれずうえ死にしてしまう。 ・新しい川で、田畑がつぶれるが、かわりに古い川や池を田畑にすれば4倍も広くなり多くの作物がとれる。 ・工事も1回ですみ、ていぼうづくりに何度もお金を使うよりも安い。 ●反対派 <ul style="list-style-type: none"> ・先祖からつづく田畑が川の底になってしまう。 ・新しい川は多くの川を横切るため、南がわでは作物が取れにくくなる。 ・今まで流れてきた水が来なくなる可能性がある。 ・新しい田畑は、砂地のため作物が育ちにくい。 <p>◎読み取ったことをGoogleスライドにまとめる。(思考ツールを用いて)</p> <p>◎他の人のGoogleスライドを見て、さらに情報を整理していく。(直接質問する)</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ○読み取ったことをいかして、自分の意見をもつ。 ・田畑がうばわれるのは嫌なので反対する。 ・こう水がおこらないために、つけかえてほしい。 		<ul style="list-style-type: none"> ☆なかなか自分で読み取ることが難しい児童には、観点を示してあげる。(土地について、お金についてなど) ☆できている児童のスライドを読むように声かけする。
振り返り (個人) 8分	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返りをする。 ・大和川をつけかえるのに賛成する人と反対する人がいることがわかった。 ・自分たちの大切な土地がうばわれるのは困るから、私はつけかえに反対だ。 ・どちらの意見も大切だけど、人の命のほうが大切だから、私はつけかえに賛成です。 		

7. 板書計画

めあて： つけかえ工事がはじまるまでの人々の動きについてまとめよう

S： つけかえ工事に賛成派・反対派の意見をわたしたちの郷土から読み取り、思考ツールなどを使ってまとめ、自分の意見をもつ。

A： つけかえ工事に賛成派・反対派の意見をわたしたちの郷土から読み取り、思考ツールなどを使ってまとめる。

問題発見： つけかえ工事がはじまるまでの人々の動きについてまとめよう

情報収集： わたしたちの郷土P126・127

- ①つけかえ工事に賛成している人の意見、反対している人の意見
- ②つけかえ工事までに起こった出来事
- ③自分だったら賛成派？反対派？

整理分析： 思考ツール

賛成派・反対派の意見を整理する

表現発信： 今日学んだことは？ →自分だったら賛成派？反対派？